

それぞれの思いを卒業式にこめる

先週から始まった卒業式の練習。可能な限り参加するようにしています。その最大の理由は、先生方と子ども達がつくり上げる空間に身を置きたいからです。誰一人私語をすることもなく、大きな声と凛とした姿勢がそこにあります。子ども達が歌い上げる別れの歌や校歌。澄んだ目をして聞いている人に思いを届けたいと声を出してくる姿を見ていると、胸にくるものがあります。

12日の総練習では、本番さながらの緊張感の中で流れを確認していきました。どの子ども自分の役割は何なのか、どのような言動をするのかを自分の体を精一杯使って表現しているように見えました。出番よりも待つ時間の方が長いのですが、全員が6年生に視線を注ぎ、6年生のために頑張るといった気持ちで座っています。その待っている姿もまた素晴らしく、ここまで頑張っていることを誇りに思います。

いよいよ明日は6年生の卒業式。持てる力を全て出し切り、悔いなく学び舎を巣立って行ってほしいです！これまでにやってきたこと、努力は嘘をつきません。自分を、そして友達、先生を信じ、6年生の皆さんには堂々と明日を過ごしてほしいです。



1・2年生とのお別れ式

6年生と学校で会える最後の時間となりました。1・2年生は成長した自分、できることが増えた自分を見てもらおうと、何度も練習を重ねました。ぴんと背筋を伸ばして式に臨む姿はいつものあどけなさは消え、大人びて見えました。

厳かな中にもほのぼのとしたものがあり、大好きな6年生に対する気持ちがしっかりと伝わる素敵な式でした。

18日は学級懇談会です

今年度最後の学級懇談会となります。ご多用とは存じますが、1年を振り返りその成長を皆で確認し合える貴重な時間となりますので、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

児童下校 13:30

1～3年 14:00～14:45

4・5年 14:45～15:30

- * スリッパ等をご持参ください。
- * 駐車は運動場に、帰りは西門から出てくださいますようお願いいたします。
- * 校長室は懇談前後の時間も含め開放しています。ご自由にお立ち寄りください。
- * 西部っ子ニュース3月分まで掲示しています。ぜひ、1年間の成長をご覧ください。年度内に返却します。子ども達の限界をこちらが決めつけてはいけなさと反省します。

年度末になり、今年最後ということが増えました。地域の方々にたくさんお世話になりました。計算の丸つけや読み聞かせのおかげで、朝の時間が充実しています。

また、来年度もお待ち申し上げます！！

<おむすびチームの皆さん>



<ケムケムの皆さん>



* 見守り隊として上西公民館に13年間立ってくださった末次様のご勇退されます。お礼をこめてPTAよりお品を送らせていただきました。

教育長コラム

教育長 末次 幸嗣

「落ち着いた学校」とは

早いもので、今年度もあと1カ月になりました。学校では、今年度のまとめと同時に進級・進学に向けての準備を進めています。

また、卒業式に向けての計画的な取り組みも行っており、今年度は地域の皆さまにも見守られての卒業式となります。

毎年、市内10校の小・中学校に午前中訪問し、授業や生活の様子などを見させていただく「学校訪問」を行ってきました。学校訪問以外でも、できるだけ現場へ行き、子どもたちの様子を見たいと思い訪問してきました。どの学校も子どもたちが元気に学校生活を送り、先生方も一年懸命に頑張っていました。

ところで「落ち着いた学校」とはどんな学校でしょうか。私がまず学校に行くとそのように感じられる場所は、小学校では児童の靴箱、中学校では自転車小屋と靴箱です。靴がきれいに靴箱の中に置かれていたり、自転車がきれいに並べられたりしているのを見たりすると落ち着きを感じます。また、教室では、床にゴミや学習用具の箱とし物が無いことや、掲示物がきれいに貼られていること、机の上に出しっぱなしの教科書等がないことです。市内の小・中学校10校は、いつでも靴箱や自転車小屋等がきれいに整頓されています。

どの学校も子どもたちの頑張りと先生方のご指導のおかげであると思います。また、生徒指導が行き届

いている学校は、清掃（掃除）を大事にしています。

また、落ち着きのない学校にならないために、特に注意すべき時期があります。一年間の中で最初に注意すべき時期は、クラスの生活に慣れてくる10月頃です。クラスでのルールや決まり事を守ることに気が回ってくる時期でもあるからです。先生方は、子どもたちの様子やクラス全体の様子をよく観察し、落ち着きがなくならないように事前に子どもたちへの指導を行っていただいています。問題が起きてからではなく、起きる前に先手先手で対策をとっていくことが大切です。

学校は誰にでも居場所があり、落ち着いて生活できることが特に重要です。楽しいことだけでなく、難しいことや頑張らなければならない場面があるかもしれませんが、時には、それを乗り越えて、達成感や成就感を感じさせることが必要だとおもいます。子どもたちには、落ち着いた学校で、学習にスポーツに取り組ませたいと思います。

また、学校では子どもたちの話にはしっかり耳を傾けるようにお願いしていますので、ご家庭でも子どもたちの話をよく聞いてあげてください。

【お知らせ】

神崎小学校は、明治7年に開校し令和6年で「開校150周年」を迎えます。記念式典等をどのように実施するかは、学校やPTA、卒業生代表により検討中です。

「落ち着いた学校」

学校は、教育長コラムにありますように、「学校に居場所があり、落ち着いて生活できること」が特に大切だと考えます。それができているかどうかは小学校では、児童の靴箱がバロメーターになると書かれています。本校でも学校の顔である玄関や児童靴箱は毎日掃除をし、手入れを欠かしません。休み時間には「かつおタイム」とし、どこの教室でも「片付け次の授業の準備 お茶・トイレ」を習慣づけるようにしています。もちろん、教室の掃除・整頓は基本中の基本です。本校では、「無言掃除」が行き届き、掃除の時間は、6年生による短い指示が時々聞こえる程度で、基本的に話し声がありません。

当たり前のことと思われるかもしれませんが、上記のことは繰り返し常に指導していないと崩れ、そこから学級の荒れが始まります。その兆候は時間のルーズさや雑然とした空間から始まります。教師を長くやっていると早い段階で気づきます。スリッパが1足だけ反対のままだった、最近筆箱の中身がそろっていない等々、保護者の方からすればこのくらいという気持ちになられることもあると思いますが、そこまでこだわっていくことで学校全体が変わっていきます。

落ち着いた学校になると、教師の声が変わり、そして子ども達の声が変わっていきます。大きな声での指導がなくなり、支援する声かけが中心になります。子供たちの声も大きな声が校舎に飛び交うのではなく、明るい声がさざめきのように校舎に満ちていきます。また、礼儀も整ってきます。丁寧語や敬語を場に応じて使えるようになっていきます。

もちろん、子どもですからいつも意識しているというわけにはいきません。子ども達は様々な感情をもっています。それを上手くコントロールするように学校としては支援しています。

コラムのように、ご家庭におきましても子ども達の思いを聞いていただけだと思います。聞いてもらい、わかってもらっただけで気持ちが落ち着くことも多いものです。

これからも家庭と学校の相互理解により、落ち着いた学校をつくり続けていきたいと思ひます。

<いつも整えられた美しい玄関の花>

